

認定看護管理者 自己研鑽の点数換算表

※必要記載事項が記載されていない提出物は無効

	種類	内容	条件	得点	添付証明資料（コピーの提出可）		備考	様式
					提出物	必要記載事項 ※該当箇所にアンダーラインを付記すること		
I 群 （社会活動）	講師・講演等	認定看護管理者教育課程の専任教員	教育課程の企画・運営	1件	10点	勤務証明書	①教育機関名 ②担当教育課程名 ③勤務期間 ④担当教育課程の開講期間 ⑤本人氏名 ⑥活動の概要  ※開講予定であったが休講となった期間も開講期間とみなしてよい	AR-4-1
			担当する教育課程での講師	1件	10点	以下の1)と2)両方を提出 1)勤務証明書 2)担当科目のシラバス、プログラム等	①教育機関名 ②担当教育課程名 ③勤務期間 ④担当教育課程の開講期間 ⑤本人氏名  ①教育機関名 ②教育課程名 ③講義名 ④講義内容 ⑤日程 ⑥本人氏名	
		看護職、看護学生を対象とした看護管理分野に関する研修会や講義の講師	1件	10点	依頼文書等	①講義（研修）名 ②日程 ③対象 ④概要 ⑤本人氏名	・所属施設内の活動は加算対象としない。	
		市民・他職種との研修会などの企画あるいは講演	1件	10点	依頼文書等 企画の場合は研修の掲示物、プログラム等	①研修名 ②日程 ③対象 ④概要 ⑤本人氏名		
	委員会活動等	看護協会、専門職能団体、学会などの役員・委員	1件	10点	依頼文書等	①任期 ②依頼内容 ③本人氏名	・1役員（委員）につき1年間で1件として認める。 ・複数年にわたり実施した場合、証明資料にてそのことが確認できれば各年10点を認める。	
		国、県、市町村の衛生行政に関する審議会などの委員	1件	10点				
	サーベイヤ	第三者評価のサーベイヤ（視察）	1件	5点	公的な訪問審査（視察）を担当したことが確認できる公文書等	①訪問審査（視察）の対象 ②日程 ③概要 ④本人氏名	・訪問審査（視察）への参加1回につき1件とし、5年間で2件10点まで認める。	
	組織等の設立・運営	地域におけるネットワークの構築、看護に関する研究会・組織の設立・運営など	1件	10点	以下の1)または2)を提出 1)構築や設立に関わったことがわかる資料	①ネットワーク・会・組織の名称 ②設立年 ③本人氏名	・設立年度を加算対象とする。	
			1件	10点	2)運営に関わったことがわかる資料	①会・組織の名称 ②日程、回数 ③対象 ④概要 ⑤本人氏名	・1年につき1件として認める。 ・複数年にわたり実施した場合、証明資料にてそのことが確認できれば各年10点を認める。	
	看護活動への表彰	県知事表彰など 国際的表彰	1件	10点	以下の1)または2)を提出 1)設立に関わったことがわかる資料	①組織名 ②設立年 ③本人氏名	・設立年度を加算対象とする。	
1件			20点	2)運営に関わったことがわかる資料	①組織名 ②日程、回数 ③対象 ④概要 ⑤本人氏名	・1年につき1件として認める。 ・複数年にわたり実施した場合、証明資料にてそのことが確認できれば各年10点を認める。		
II 群 （研修プログラム・学会・研究会への参加・発表等）	研修プログラム・学会・研究会参加	看護管理に関する最新の情報・知識・技術の修得のための研修プログラムなどへの参加	1件	3点	参加証、修了証、受講証、領収書等	①プログラム名 ②日程 ③本人氏名 ④主催者の押印	・参加証、修了証、受講証は原本であれば「④主催者の押印」がなくても有効。但し、押印のない領収書は原本であっても無効。 ・4時間未満の場合には、2点で申告すること。	AR-4-4
		学会・研究会への一般参加	1件	3点	参加証、修了証、受講証、領収書等	①学会・研究会名 ②日程 ③本人氏名 ④主催者の押印	・海外での国際会議及び学術集会の証明資料に「④主催者の押印」がない場合は、原本であれば押印がなくても有効。	
	学会・研究会発表	筆頭者	1件	10点	学術集会誌等の表紙、目次、抄録等	①学会・研究会名 ②発表日程 ③演題名 ④本人氏名 ⑤抄録	・①～⑤について確認できるページ（複数にわたっても可）のコピーを提出すること。 ・審査の対象とならない資料（学会の発表原稿等の自作資料）は添付しない。	AR-4-2
		共同研究者	1件	5点				
	学会・研究会講演等	学会長	1件	15点	学術集会プログラム、学会誌の目次等	①学会名 ②日程 ③学会長（本人）名	・プログラム及び目次だけでは①～③の記載が網羅されない場合は、記載のある資料（主催者が作成したもの）をあわせて提出のこと（自作のものは不可）。	AR-4-3
		講演講師	1件	10点	依頼文書、講演の抄録等	①学会・研究会名 ②日程 ③演題名 ④本人氏名	・依頼文書及び抄録だけでは①～④の記載が網羅されない場合は、記載のある資料（主催者が作成したもの）をあわせて提出のこと（自作のものは不可）。	
		シンポジスト	1件	10点				
	論文発表・専門誌等の執筆	座長	1件	5点	学術集会プログラム、学会誌の目次等	①学会・研究会名 ②日程 ③座長担当部分の演題一覧 ④座長（本人）名	・プログラム及び目次だけでは①～④の記載が網羅されない場合は、記載のある資料（主催者が作成したもの）をあわせて提出のこと（自作のものは不可）。	AR-4-5
		筆頭執筆者	1件	10点	別刷、コピー等	①雑誌・書籍名 ②出版年月 ③題名 ④本人氏名 ⑤内容（概要のわかる部分）	・インタビュー記事は対象外（事例検討または看護研究などを学会誌や雑誌などに発表したもの[原著論文、総説、報告など]とする）。 ・出版年月が審査対象期間であること。 ・①～⑤について確認できるページ（複数にわたっても可）のコピーを提出すること。	
			共著者	1件	5点			

注1: 原則として各年10点以上であること。  
 注2: 5年間の合計が50点以上であること。  
 注3: I群II群ともに10点以上であり、I群30点、II群20点以上であることが望ましい。  
 注4: 1つの活動内容が2つ以上の加算対象となる場合、点数の高い方で申請すること。  
 注5: WEB開催の研修、学会等の参加の場合も申請可能。必要記載事項が確認できるWEB画面を印刷し、証明資料としてもよい。  
 注6: WEB開催の学会等の発表、講演等の場合も申請可能。必要記載事項が確認できるWEB画面を印刷し、証明資料としてもよい。